



ドーン財団

2022

オンライン開催

## フェミニストカウンセリング



2022年

7月28日(木)~11月9日(水) 全8回

14:00~16:00(各回) Zoomミーティングで実施

## 対象

- 女性を対象とした相談事業やメンタルヘルスに関する事業に関わっている方
- カウンセリングの基礎知識があり、フェミニズムの視点にたった女性への心理的支援に関心がある方

## 定員

各回 50人程度

## 受講料

全回 24,000円

各回 4,000円

※一旦お支払いされた受講料は返金できません。ご了承ください。

## 申込方法

申込フォームよりお申込みください。

URL:<https://forms.office.com/r/pArAyeiD0p>

【申込フォーム】

申込締切  
各講座の  
7日前まで

**女**性の相談にあたる際には、女性が置かれている状況や、問題の背景にある社会的要因を、ジェンダーの視点で読み解くことが求められます。

本講座では、女性の悩みや苦しみを、ジェンダーの視点で捉え直し、女性一人ひとりが、その人らしく生きることができるよう力を取り戻すことをサポートするフェミニストカウンセリングへの理解を深めるとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助の実践に向けた必要な知識と技術を、学びます。

1996年から始めた本講座には、これまで、行政機関や民間団体において、女性相談、DV相談、児童相談、メンタルヘルス相談に携わっておられる方や、福祉、保健医療、教育現場で女性から相談を受けることがある方等、幅広い領域から参加されています。

日々の相談・支援の視点の整理や、学びを深める研修の機会として、ぜひご活用ください。

※お申込み受付後、1週間以内に受講可否及び受講料の振込案内をメールで通知いたします。

※各講座は当日のライブ配信となります。後日アーカイブ配信はございません。

※全8回中、6回以上受講された方には、修了証書を発行します。

※お申込にあたってお預かりする個人情報は、本講座以外の目的で使用することはありません。

男女共同参画社会の実現に向けて、わたしたちはチャレンジを続けます。

- 女性の悩みを受けとめ、寄り添う
  - 次世代を育成する
  - 女性を支える、応援する
  - 地域における取組を推進する
- 受託事業/自主事業/講師派遣/講座・研修等のコーディネート/指定管理業務等

## 「ドーン財団」について

1994年設立。2010年大阪府から自立し、以降は国や大阪府、他自治体の事業受託等で運営しています。

ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)を拠点に活動してきたこと、また「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表すことから「ドーン財団」という愛称になりました。



【ドーン財団HP】

## お問い合わせ

ドーン財団(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 大手前センタービル12F

TEL 06-6910-8615 FAX 06-6910-8624

Email [jigyoo@dawn-ogef.jp](mailto:jigyoo@dawn-ogef.jp) URL <https://www.dawn-ogef.jp>

主催:ドーン財団(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)

2022年

7月28日(木)～11月9日(水) 全8回

14:00～16:00(各回) Zoomミーティングで実施

【申込フォーム】

申込締切 各講座の7日前まで



日程

講座タイトル / 講師プロフィール

①	「フェミニストカウンセリング」とは ～なぜカウンセリングにジェンダーの視点が必要なのか～
7/28 (木)	講師：加藤 伊都子 (日本フェミニストカウンセリング学会代表理事、フェミニストカウンセリング堺フェミニストカウンセラー、NPO法人ふみみづる堺代表) フェミニストカウンセリング堺及び自治体の相談室でフェミニストカウンセリングを行うほか、女性のための自己主張・自己尊重トレーニングのグループトレーナー、サポートグループ・CRなど女性のための語り合いグループのファシリテーター活動を行う。また、セクハラ・DV防止研修、被害者支援活動を行うとともに子育て支援に取り組む。著書に、「私は私。母は母。～あなたを苦しめる母親からの自由になる本」(すばる舎、2012年)
②	性暴力のその後を生きる ～トラウマカウンセリングとフェミニストカウンセラーの役割～
8/17 (水)	講師：杉本 志津佳 (フェミニストカウンセリング堺代表、日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー、公認心理師) 性暴力被害を中心に、個人カウンセリング、グループワークのトレーナー等を行う。また、自治体等で、女性相談やセクシュアル・ハラスメント相談に従事している。その他、堺市女性相談、追手門学院大学ハラスメント専門相談員、大阪大学歯学研究科等ハラスメント相談員、大阪狭山市男女共同参画推進懇話会委員、日本フェミニストカウンセラー協会理事。
③	DV被害者支援におけるサポートグループの有効性
9/1 (木)	講師：宮本 由起代 (特定非営利活動法人心のサポート・ステーション代表理事、大阪心のサポートセンター代表) 1987年に女性のためのカウンセリングルームを設立。大阪心のサポートセンターに改名後は相談対象を男女に広げる。2003年、誰もが活動できるようにNPO法人を設立。スタッフやボランティアの仲間たちと、女性や子どもの人権が尊重される男女共同参画社会の実現をめざして活動している。
④	心療内科から見える女性の悩み ～心身症・うつ・摂食障害等～
9/15 (木)	講師：藤田 光恵 (ふじたみつえクリニック院長) 平成15年から、京都市内で「ふじたみつえクリニック」を開業し、心療内科医として診察している。心身症、うつ病、不安障害、摂食障害、PTSDなどの女性患者が多く訪れている。個人の問題だけでなく、社会の中で女性がおかれている状況を理解しながらの治療を心がけている。
⑤	女性の心とからだ ～リプロダクティブ・ヘルス&ライツの視点から～
9/29 (木)	講師：高田 昌代 (神戸市看護大学教授) 女性の健康、妊産婦の助産ケアを行う助産師として病院や地域で活動後、助産師教育、看護師教育に従事。思春期ピアカウンセリング研究会でピアカウンセラー養成者として中学校・高校において活動するほか、不妊や不育症、高齢出産、人工中絶妊娠、月経困難症など、月経・出産を取り巻く現状に対して、自分のからだを知る、大切にすることの相談・啓発活動などを行っている。
⑥	多様な性 ～当事者・家族への支援～
10/12 (水)	講師：執行 照子 (日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー、NPO法人フェミニストカウンセリング神戸理事) 2018年から、性の多様性が認め合える社会の実現を目指して「カラフルチャイルド」の一員として活動を続けている。 【一部執筆出版物】『にじ色の本棚—LGBTブックガイド—』、『学校・病院で必ず役立つLGBTサポートブック』
⑦	法と司法に潜むジェンダー
10/27 (木)	講師：雪田 樹理 (弁護士) 1990年 大阪弁護士会登録。2002年 女性共同法律事務所を開設。主にドメスティック・バイオレンスや性暴力等の女性に対する暴力の分野で活動。現在 特定非営利活動法人いくの学園理事長、特定非営利活動法人性暴力救援センター・大阪SACHICO理事、認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ理事を務める。
⑧	DV家庭で育った子どものケア
11/9 (水)	講師：竹之下 雅代 (ウィメンズカウンセリング京都所属、日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー) 女性や子どものための心理的支援を志し、1991年ごろより活動。男女共同参画センター、DV相談支援センター、保健所等で、特に暴力被害母子や性暴力被害者へのエンパワメントのためのカウンセリング、グループワーク、子育て支援に関わっている。DVや性暴力被害者のため、アドヴォケイト活動もしている。

お問合せ

ドーン財団(一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 大手前センタービル12F

TEL 06-6910-8615、FAX 06-6910-8624

Email jigyo@dawn-ogef.jp URL <https://www.dawn-ogef.jp>

【受付時間:月～金 9:15～17:30(土日祝は休み)】



【ドーン財団HP】

